

【産直用】パプリカ 防除日誌 2026年(令和8年)【天敵導入】

JA庄内たがわ

支所名

生産者名

作付面積

坪a

圃場No.

JA確認欄

品種名

播種日

月

日

定植日

月

日

収穫始め

月

日

※ミカン:ミカンキイロアザミウマ

時期	対象病害虫											薬剤名	使用量及び希釈倍数	100L当たり薬剤量	使用時期	使用回数	RACコード	天敵影響影 残	備考	使用農薬に☑を付け、日付を記入 ※農薬には使用回数制限があるので マス目以上の使用はしない								
	ナメクジ類	ネコブセンチュウ	アブラムシ類	アザミウマ類※	ハダニ類	チャノホコリダニ	コナジラミ類	オオタバコガ	タバコガ類	ハスモンヨトウ	(うどんこ病)									☐ /								
定植前 ～ 定植時		○					○					ネマトリンエース粒剤	15～20kg / 10a		定植前	1回	I:1B	◎ 0	全面土壌混和	☐ /								
			○	○			○					プリロッソ粒剤オメガ	2g/株		育苗期後半～定植時	1回	I:28	--	株元散布	☐ /								
			○				○					ベストガード粒剤	1～2g/株		定植時	1回	I:4A	× 40 ↑	植穴処理土壌混和	☐ /								
(天敵導入期前)			○				○					ベストガード水溶剤	1,000倍	100g	収穫前日まで	3回以内		× 40 ↑	散布してから天敵導入まで、 左記の日数を空けること。 天敵導入後は使用しない。	☐ /	☐ /	☐ /						
							○	○				アフーム乳剤	2,000倍	50ml	収穫前日まで	2回以内	I:6	× 14 ↑		☐ /	☐ /							
				○			○	○		○		ディアナSC	2,500倍	40ml	収穫前日まで	2回以内	I:5	× 14		☐ /	☐ /							
			○	○			○	○				ベネピアOD	2,000倍	50ml	収穫前日まで	3回以内	I:28	○ 7		☐ /	☐ /	☐ /						
※天敵				○								トスバック	0.5ℓ(約500～2000頭)/10a		発生初期	-	I:未		天敵農薬	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /				
生育期 (天敵導入前・後共通)						○	○	○		○		アニキ乳剤	2,000倍	50ml	収穫前日まで	3回以内	I:6	◎ 0		☐ /	☐ /	☐ /						
				○ミカン	○			○				コテツフロアブル(劇)	2,000倍	50ml	収穫前日まで	2回以内	I:13	○ -		☐ /	☐ /							
				○					○			ブレオフフロアブル	1,000倍	100ml	収穫前日まで	2回以内	I:UN	◎ 0		☐ /	☐ /							
								○		○		プレバソソフロアブル5	1,000倍	100ml	収穫前日まで	2回以内	I:28	◎ 0		☐ /	☐ /							
			○				○	○				ヨーバルフロアブル	2,500倍	40ml	収穫前日まで	3回以内		◎ 0		☐ /	☐ /	☐ /						
			○									ウララDF	3,000倍	33g	収穫前日まで	2回以内	I:29	◎ 0		☐ /	☐ /							
			○	○	○	○	○					モベントフロアブル	2,000倍	50ml	収穫前日まで	3回以内	I:23	◎ 0		☐ /	☐ /	☐ /						
					○							ダニロンフロアブル	1,000倍	100ml	収穫前日まで	3回以内	I:21A	◎ 0		☐ /	☐ /	☐ /						
					○							ダニサラバフロアブル	1,000倍	100ml	収穫前日まで	2回以内	I:25A	◎ 0	同一成分とみなし連用しない	☐ /	☐ /							
					○							ダニユングフロアブル	3,000倍	33ml	収穫前日まで	1回	I:25B	◎ 0		☐ /								
					○							ダニオーテフロアブル	2,000倍	50ml	収穫前日まで	2回以内	I:33	◎ 0		☐ /	☐ /							
			○		○		○				○	エコピタ液剤	100倍	1000ml	収穫前日まで	-	I:未	○ 1 薬液乾燥後は影響ない	スポット散布	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /				
	○											スラゴ	1～5g/㎡		発生時	-	I:UN	影響はないと考えられる	発生・加害箇所又は株元に配置	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /				
																			☐ /	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /					
																			☐ /	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /					
		べと病	軟腐病	菌核病	斑点細菌病	灰色かび病	炭そ病	黒枯病	斑点病	疫病	うどんこ病	薬剤名	希釈倍数	100L当たり薬剤量	使用前日数	使用回数	RACコード	天敵影響	備考	使用農薬に☑を付け、日付を記入								
											○	トリフミン水和剤	3,000倍	33g	収穫前日まで	5回以内	F:3	◎ 0	予防・治療	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /				
										○		ランマンフロアブル	2,000倍	50ml	収穫前日まで	4回以内	F:21	◎ 0	予防・治療	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /	合わせて4回以内				
										○		ユニフォーム粒剤	3g/株		収穫前日まで	3回以内	F:11 F:4	-	予防・治療 株元散布	☐ /	☐ /	☐ /						
							○	○	○	○	○	アミスターオプティフロアブル	1,000倍	100ml	収穫前日まで	3回以内	F:11 F:M05	--	予防・治療	☐ /	☐ /	☐ /						
							○	○	○		○	ダコニール1000	1,000倍	100ml	収穫前日まで	3回以内	F:M05	◎ 0	予防	☐ /	☐ /	☐ /						
					○				○		○	カスミンボルドー	1,000倍	100g	収穫前日まで	5回以内	F:24 F:M01	--	予防・治療 (高温時の薬害に注意)	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /				
		○	○									ドイツボルドーA	500倍	200g	-	-	F:M01	--	予防 (高温時の薬害に注意)	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /				
						○		○			○	パレード20フロアブル	2,000倍	50ml	収穫前日まで	3回以内	F:7	◎ 0	予防・治療	☐ /	☐ /	☐ /						
				○		○						ロブラール水和剤	1,000倍	100g	収穫前日まで	4回以内	F:2	◎ 0	予防・治療	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /					
				○			○					スクレアフロアブル	2,000倍	50ml	収穫前日まで	3回以内	F:11	◎ 0	予防・治療	☐ /	☐ /	☐ /						
						○					○	カリグリーン	800倍	125g	収穫前日まで	-	F:NC	◎ 0	予防・治療	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /				
																			☐ /	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /					
																			☐ /	☐ /	☐ /	☐ /	☐ /					

留意事項

※パプリカ にはピーマン、野菜類、なす科果菜類 に登録がある農薬も使えます。

・使用時期の「収穫前日まで」とは、薬剤散布を終了した時刻より24時間を経過するまで、収穫出来ないことを示します。

・天敵導入後に芽かき・葉かきをする場合は、かいいた葉などはハウス外に出さず、コンテナなどに入れ10日間程はハウス内に置いておく。(天敵がわき芽や葉に卵を産むため)

・農薬ごとの作用性を分類したものを「RACコード」といい、製品ラベルなどに表示されている。農薬による耐性・抵抗性は、同一農薬、同一系統の薬剤の連用がその発生要因であると考えられている。RACコードが同一であれば、有効成分が異なっても同一系統の薬剤なので、連用は避ける。

* 10a当り(300坪)の散布量⇒生育に応じて200～300ℓ

※天敵導入時の注意点

・粘着版を設置してアザミウマの発生状況を確認し、導入時期の目安とする。

・アザミウマの発生が確認されたら導入する。定植後45日頃が目安(定植時のベストガード粒剤の効果が約45日間のため)

・導入後2～3週間まではできるだけ薬剤防除、葉面散布などはしないことが望ましい。